

2022年6月1日

日本熱処理技術協会 会誌「熱処理」に技術解説が掲載されました

一般社団法人日本熱処理技術協会の会誌「熱処理」【62巻2号(2022)】に下記の技術解説が掲載されました。

「コンピュータによる高周波焼入れシミュレーション」について

著者：堀野 孝

<概要>

コンピュータ・シミュレーションの活用が年々進んできており、加熱コイルの設計や熱処理操業条件の設定支援などを中心に実用化されている。 Netzlen では、商用の磁場解析ソフトウェアと独自開発の熱処理解析ソフトウェアによる高周波熱処理シミュレーション・システムを構築しており、加熱コイルや冷却ジャケットの設計、最適な熱処理操業条件の設定だけでなく、熱処理変形および内部応力の発生メカニズム解明による低変形化策や焼割防止策の検討などにも活用している。

本稿では、高周波焼入れで用いられる誘導加熱の原理と噴射冷却について説明した後、コンピュータによる高周波焼入れシミュレーションの構成と手法、活用事例について解説する。

以 上

本件に関するお問い合わせ：

研究開発本部

システム開発部

TEL: 0463-55-7853

堀野孝